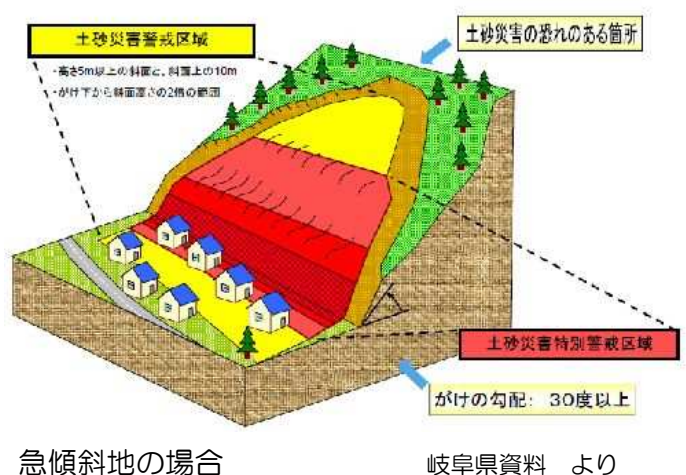
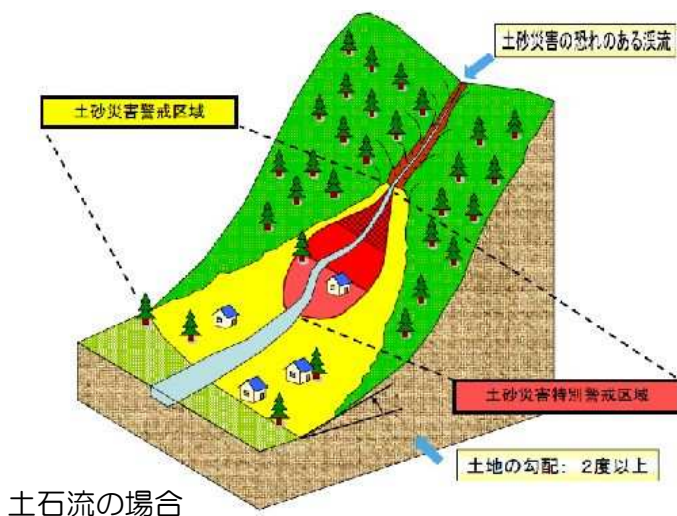


自助・・・自らの命は自ら守る！

下呂市は、面積の91%が森林で宅地はわずか0.9%、海拔も220mから最高3,052mと豊かな自然に恵まれる一方で、飛騨川やその支流沿いの平地に市街地が点在しています。このため、市内には土砂災害警戒区域（イエローゾーン）や土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）が多数指定されています。

※岐阜県内では土砂災害警戒区域が15,015箇所、うち土砂災害特別警戒区域は13,733箇所。下呂市では土砂災害警戒区域が1,057箇所、うち土砂災害特別警戒区域は1,010箇所が指定されています。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）は土砂災害の恐れがある区域で、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）は建築物損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある区域を意味します。



岐阜県資料 より

水害は河川水位の上昇など危険性を認識しやすく、比較的避難しやすいのですが、土砂災害は危険性が認識しにくい特徴があります。

※土砂災害の場合、土壌雨量指数（降った雨がどれだけ土壌に貯まっているのか指数化したもの）が高くなるほど、土石流や崖崩れの発生の恐れが高くなります。

こうしたことから、県では地形的に危険な場所を調査し指定することで、砂防施設を整備したり、雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、岐阜地方気象台と共同で土砂災害警戒情報を発表したりしています。市ではハザードマップを地区ごとに作成し配布、平常時の防災活動に活用をお願いしているところです。（防災啓発チラシNo.①ハザードマップもご参照下さい）

土砂災害警戒区域や土砂災害危険度情報（危険度判定メッシュ）は県の[土砂災害警戒情報ポータル](#)にて閲覧できますので、ご自分の地域の指定状況や大雨の際の危険度判定に是非、ご活用下さい。

次回は、防災用食料備蓄についてお知らせいたします。

岐阜県 土砂災害警戒情報ポータル

土砂災害警戒区域等

現在、土砂災害警戒情報は発表されていません

土砂災害危険度情報

雨量情報